シニアの目

「シニアの目」企画にあたって

実行委員 秋 元 英 郎*

シニアの目は、大嶋新会長が実行委員長であった前回の年次大会からはじまった企画であり、大嶋会長の「シニア層に本学会に戻ってきてほしい、シニアの経験・知恵を活かしたい」という思いを実現しようとする第一歩である。

今回の5名は私が「個人的」にお世話になった方であり、学会の活動分野全体を網羅していない可能性はあるものの、含蓄あるお言葉の中に現役世代に課せられた責任の重さを感じる。この場で改めてお礼を述べたい。

なお、原文を味わっていただくため、校閲は最小限にとどめた。

* Akimoto, Hideo

秋元技術士事務所

千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン CB 棟 3 F MBP 内

(〒261-0023)

シニアの目

青 野 哲 士*

学会への参加は久しぶりだったが、とても嬉しく、この学会の未来に希望が持てるものであった。

今回は「元気な中小企業」のセッションを中心に聴講させて頂いたが、通常の学会に見られる技術中心の話ではなく、苦労話を含めた、正に今の中小企業の頑張りを聞け、庶民的な学会への一歩を踏み出したのではないかと微笑ましい感じがした。

あまり皆さんの前で発表するのに慣れてないと思われる方々の話を聞いていると、技術だけ論じるのではなく、現実の業態に沿った議論も必要と思わせる感じがして、この企画を考えられた方に敬意を表したい。

今の日本の成形業界は決して楽なものではなく、何らかの助けを求めている中小企業の経営者は多いと思われる。その方々が気楽に参加出来、面白いと思える学会であれば、もっと多くの参加を得られ、そこから新たな情報を得て、次の仕事に向かっていけるのではないと思う。この成形加工学会が今その道を歩き始めたと感じられ、楽しい2日間だった。

ちなみに、懇親会のサンバのアイデアは秀逸でした。感謝！

* Aono, Tetsuo

プラスチックみらい研究会 事務局

長野市大岡中牧 4688-6 (〒381-2701)

シニアの目

宇 野 泰 光*

現役を退いてから早くも5年が経ち久々の学会参加となりました。現役時代にたずさわったことのある射出成形や紡糸技術などの講演を中心に受講させていただきました。改めて感じたのは高分子材料と言うのは粘弾性体の上、均一な材料ではなくきわめて扱い難いしろものだということです。私が現役時代に追い求めていたのは、射出成形の過程で高分子（樹脂）はどのように溶融し混練されどのように押し出されるのか、どのようにして賦形され固化して製品が出来上がってくるのだろうかということなのですが、今回の講演の subject もほとんどがこれらの追及に関するものであり高分子成形の課題は今も昔も変わらないと思ったのです。分析や解析技術など周辺の技術が一段と進歩してきています。これらを駆使して駄々子のように扱いの難しい高分子（樹脂）をなだめつつ良品を作っていかなければなりません。いつの時代も基本的なことは変わらないのです。基本的なことを一つ一つ地道に追い求めて解決していくことが技術の発展につながるということを改めて感じた次第です。

* Uno, Taiko

元小野産業(株) 社長 工学博士

鎌倉市二階堂 267-86 (〒248-0002)